

基礎講座ニュース

第8回「記録と実践」

①日々の記録と実践記録 日時 12月11日(木) 受講者 7名 考える会 2名

◎講座内容(学習のねらい)

学童保育における記録の重要性とその活用について学びます。記録は指導員の大切な仕事の一つで、記録を書きそれを振り返り保育に生かします。

◎受講者の振り返りシートより(一部抜粋)

・「記憶」と「記録」という言葉がとても心に残りました。自分の意図を3分割にして記録をする練習の中で、自分の言動(事実)がいかに少なかったかを知りました。今回の記録の大切さを学んで、子どもを理解するための手がかりとして記録=インプット、実践=アウトプットと置き換えて皆で共有しながら子どもの育成に取り組んでいきたいと思えます。

・これまでの記録というと、“反省を書くもの”という印象が強かったのですが、子どもの姿と自分の関わりを丁寧に見つめるための重要なツールであると感じました。今後トラブルが起きた時の記録は特に丁寧に残していきたいと思えました。今は十分とはいえないので、子どもや指導員の言動などの“事実”と指導員としての自分がどんな意図や意識で対応したのかも合わせて書けるように意識したいです。

②実践検討会 日時 12月18日(木) 受講者 11名 考える会 7名

◎実践検討会の目的・意義

実践記録を集団で検討することは、子どもへの理解や子どもとの関わり方を複数の目で検証し、力量をより高めていくことを目的としています。

◎参加者からの感想(一部抜粋)

・<報告者より>初めての実践記録に挑戦しました。実践を書く事で、自分の保育に対する現在地が分かりました。発表することで、たくさんの視点を学びました。司会者の浅木さんにサポートいただき安心して挑戦することができました。本当にありがとうございました。

・他の方の意見に新しい気付きがあったり、自分の保育の経験から意見を言ったり、少人数なので意見しやすい雰囲気良かったです。

・一人の子どもについて深掘りして関わった指導員の気持ち、関わり方を読ませてもらって自分というものをさらけ出す場でもあり、改めてすごいと思えました。そして、自分の考えや気持ちをグループで話し合っ心理的な深い気持ちを共有し合うのはとてもおもしろかったです。

・クラブで似たような子がいるので、同じ立場として聞けて、客観的にも冷静に聞くこと、見ることができたと思います。支援員間で、その子に対する対応の仕方についての共有、情報、統一がやはり大事だと思えました。